

ジョイフル シェルター

**JOYFUL SHELTER**  
**Mr Quick**®

ミスター クイック

イベント用テント

取扱説明書



安全のため、ご使用前には、必ず取扱説明書をお読みください。  
お読みになった後は、いつでも必要なときに取り出せるように所定の場所に保管してください。

## 「はじめに」

この度は、ジョイフルシェルター「Mr Quick」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

「Mr Quick」は、軽量、簡単、美しさを追求して作られました。下記に掲げる使用方法を正しくお守りになり、未永くご愛用いただけますようお願い申し上げます。なお、天幕などのカラーは、印刷のため見本とは多少異なる場合がございます。また、商品の仕様及び価格等につきましては、予告なしに変更する場合がございますのでご了承ください。

### 1 安全上のご注意

ジョイフルシェルター「Mr Quick」のご使用に際しましては、本章及び本文中の注意事項を必ずお守りください。取扱説明書に記載されていない操作を行わないでください。事故、故障の原因となる場合があります。

#### シグナル用語の定義

本取扱説明書、及び製品上の警告ラベルでは、安全性の注意事項を次の2つに分類しています。



警告

この指示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この指示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

#### 警告ラベル

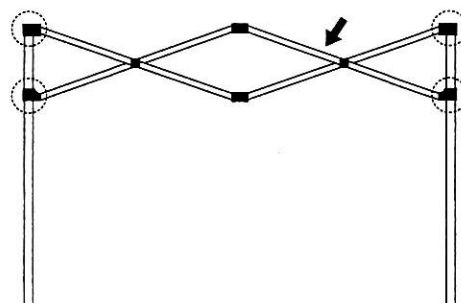
製品上には、図1のような警告ラベルが貼り付けてあります。

警告ラベルの意味と貼り付け箇所(図2の矢印部分)を理解してからご使用ください。

〈図1〉



〈図2〉



### 注意事項



警告

- 大雨、長雨、強風時(10m以上)には、使用しないでください。強風によりテント本体が倒れたり、飛ばされ、人が外傷を負ったり、物が破損する恐れがあります。
- 火気類を近づけないでください。天幕素材は、難燃性のポリエステルを使用しておりますが、火災発生の恐れがあります。
- 設営時には必ずロープ・杭、または所定の砂袋、鋳物重り(10kg~20kg)等でテント支柱を固定してください。突風によりテント本体が倒れたり、飛ばされ、人が外傷を負ったり、物が破損する恐れがあります。

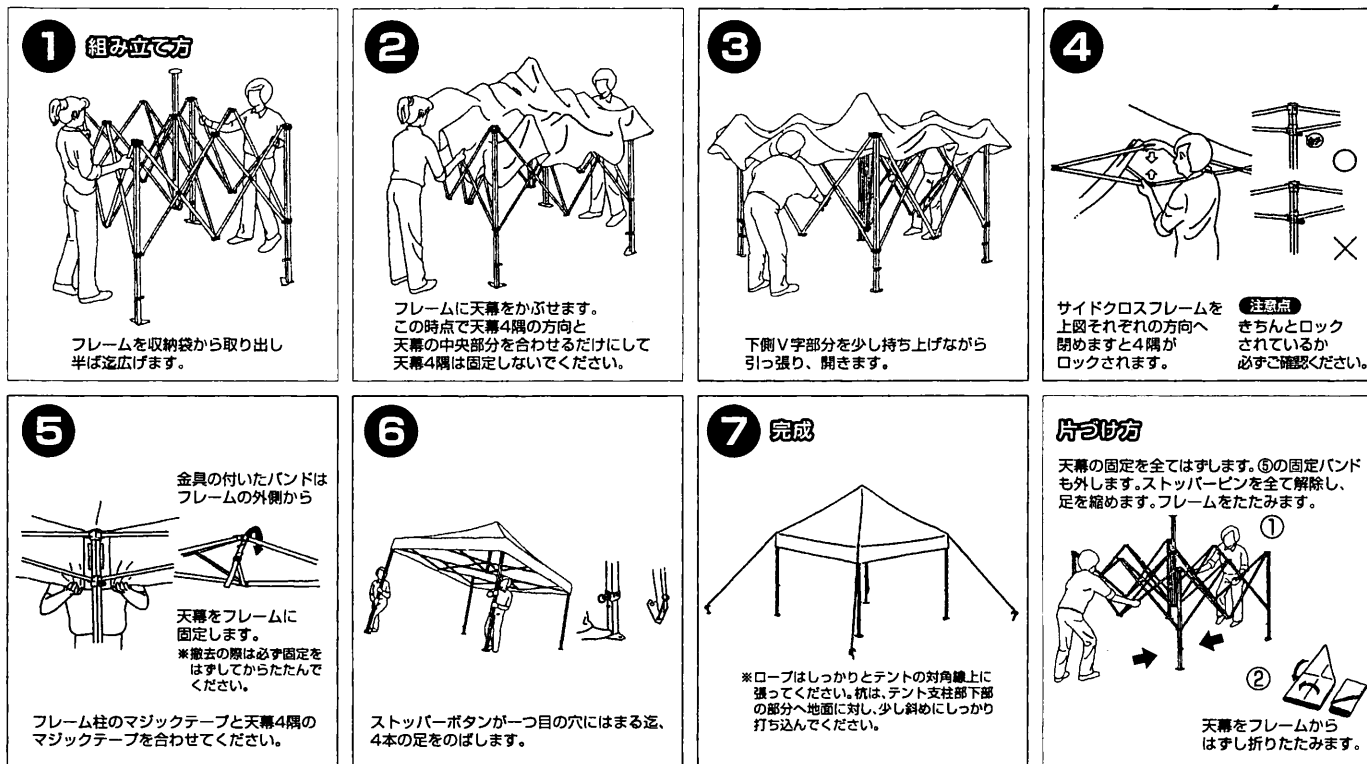
※ロープはしっかりとテントの対角線上に張ってください。杭はテントの支柱下部の部分へ地面に対し、少し斜めにしっかりと打ち込んでください。



注意

- 設営、収納作業は安全のため大人2人以上で行ってください。
- 設営、収納作業にスライド部分、ストッパー(図2の矢印)部分に手・指をはさむ恐れがありますので、軍手等を使用し、常にフレームの中央部分を持って作業を行ってください。

## 2 テントの設営方法



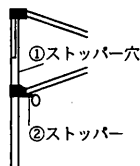
### 設営方法

- 右図3のA・Bを持ち、テントを浮かせながらゆっくりと左右に1m位に広げてください。
- 持つ位置を組み立て方③のように持ち替え、テントを浮かせながらストッパーの穴(図4の①)の下にストッパー(図4の②)がくるまでゆっくり広げてください。
- 天幕は、フレーム全体を覆うように付けます。この時点で天幕4隅の方向とテントの中央部分を合わせるだけにして、天幕4隅は固定しないでください。(組み立て方②参照)
- 組み立て方④のように矢印の方向へはさむように力を加えてください。このときに4箇所(6足のテントならば6箇所)にストッパーがロックされているか確認後(図5参照、組み立て方④参照)天幕4隅のマジックテープを固定してください。
- 天幕の内側にあるマジックテープを、内側のフレームに固定してください。バンドで天幕をフレームに固定します。(組み立て方⑤参照)
- 天幕の4隅にあるリングに支線をとるためのロープを結んでください。
- テントの足をご希望の高さまでスライドし、この時、組み立て方⑥のように同方向の足を同じに上げ、その後、残りの片方も同じにスライドしてください。
- ロープは、テントの対角線上に張り、杭は組み立て方⑦のように地面に対し、少し斜めに打ち込みます。この時、ロープは弛まないように張り、砂袋は足の土台に結んでください。

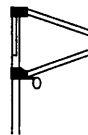
〈図3〉 A B



〈図4〉



〈図5〉



### 錆物重りの設置方法

- 重りのきりこみ部分(右図A)と横にあるとって用の穴をご確認ください。
- フレームの足の部分に、重りのきりこみ部分を奥までしっかりと入れこみます。

### 使用上の注意

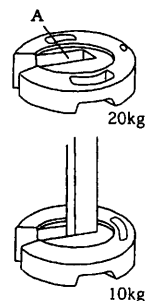
- テントの設置場所は傾斜のない平坦な場所を選び、重りも設置して下さい。
- 持ち運びはスレリ止めがついている軍手をはめ、左右の持ち手穴にしっかりと手を入れて、足元に気をつけて運んで下さい。
- 本製品は使用とともに劣化致します。ひび割れなどの異常がある場合にはただちに交換等の適切な処置を行って下さい。



注意

重りは(10kg・20kg)あります。手や足等に落としたりしますと、怪我をする恐れがありますので、しっかりと重りのとっての穴に手を入れて持ってください。

〈完成図〉



## 3

## 収納・保管方法

- ① 砂袋もしくは、鋳物重りを取り外し、杭を抜いてください。
- ② テントの足を1番下までスライドさせてください。
- ③ 天幕に結んだロープをほどき、天幕内側のマジックテープを外してください。
- ④ 天幕4隅のマジックテープで固定されている部分をめくり、ストッパーリングを軽く引き、ロックを解除してください。
- ⑤ 天幕を取り外し、片づけ方①(P2)のように柱を持ち、テントを浮かせながらゆっくり縮めてください。
- ⑥ 組み立て方①のように柱と柱が両手でつかめるぐらいに縮めた後、図3(P2)のA・Bの部分を持ち、矢印の方向へ押し、広げる前の状態まで戻してください。
- ⑦ テント本体をキャリーバックに収納して完了です。(天幕のたたみ方は、片づけ方②(P2)を参照してください。)
- ⑧ ご使用后、汚れ等を拭き取り、風通しの良いところに保管してください。

(注) ⑨ 鋳物重りを重ね置きする場合には、重りの上面と底面の凹凸に重ね合わせ、ずれないようにして下さい。重量のある製品なので保管場所は棚などに載せず、取り出しやすいところに保管して下さい。

## 未永くお使いいただくために

- 天幕は、取り外して収納いたしますと摩耗する機会が少なくなり長持ちいたします。
- 天幕は、防水処理を施しておりますが、雨などによって濡れた場合は、早めに充分乾かしてから収納してください。放置しつづけますと天幕をいためる恐れがあります。
- 海辺でご使用した後、砂、潮を洗い流してから収納してください。
- 保管時は雨などに濡らさないように気をつけてください。
- テントに過度の負担をかけないようにしてください。
- 天幕を必要以上に伸ばさないでください。
- 天幕は漂白剤の洗剤で洗濯しないでください。色落ちしたり、防水性に支障をきたす恐れがあります。
- 故障に付きましては、各フレーム・部品単位の交換にて対応しております。天幕はオプションにて各カラーを購入できます。

## さらに、安全にお使いいただくために…

強風(風速\*10m/秒以上)時には、ご使用・設営は避けてください。

テント本体が倒れたり飛ばされたりし、人に危害が及んだり、周囲の物の破損につながる恐れがあります。なお、風速\*10m(/秒)といわれても、実際にはその3倍の瞬間風速30m(/秒)以上の突風が吹く可能性がありますので、十分に注意することが必要です。特に、上昇気流のように下方から吹き上がる突風のことも想定した上で準備・対策をとることが望まれます。また、設営時には、ロープ・杭(バグ)\*1や砂袋・水袋、鋳物重り\*2等でテントの支柱を必ず固定してください。予期せぬ強風により、テント本体が倒れたり飛ばされたりしないよう、細心の準備・対策を心がけましょう。

\*風速：10分間の平均風速を指します。瞬間風速は、平均風速の1.5倍から3倍以上になることがあります。

風速10m/秒(~15m/秒)の目安：時速換算36km(~54km)相当

予報用語：やや強い風 屋外・樹木の様子：樹木全体が揺れる・電線が鳴る 人への影響：風に向かって歩きにくくなる・傘がさせない 建造物の被害：取り付けの不完全な看板やトタン板が飛び始める

(参考)気象庁「風と雨の表」・「ビューフォート風力階級表」

※1【地面に杭を打ち込める場合】

ロープはテントの対角線上にしっかりと張り、杭(バグ)をテント支柱下部より外側の地面に対し、少し斜め(ロープとはほぼ垂直になるイメージ)にしっかりと打ち込みます。テント全体が地面と一体化されることで、強い耐風性につながります。大雨・長雨時にも、ご使用・設営は避けてください。天幕およびテントフレームが早く損傷します。

※2【鋳物重りの場合】

テント支柱に重りの切りこみ部分を奥までしっかりと差し込みます。支柱としっかりと固定できるよう、重りの穴にひもを通して結んで固定してください。

## 4 Mr Quickをよりご理解いただくために

●仕様 フレーム：スチール・アルミ複合タイプ / 総アルミタイプ 天幕：ポリエステル 600D

商品番号	間口/cm	奥行/cm	軒高/cm	全高/cm	総重量/kg	収納寸法 /cm
T-11/TA-11	180	180	149~181	222~254	24/21	W40×D40×H129
T-12/TA-12	270	180	186~222	274~310	34/30	W45×D40×H157
T-13/TA-13	360	180	186~222	274~310	38/32	W45×D40×H157
T-22/TA-22	240	240	149~181	238~270	27/22	W40×D40×H129
T-23/TA-23	360	240	186~222	302~338	39/33	W45×D40×H157
T-24/TA-24	480	240	186~222	302~338	52/44	W50×D40×H157
T-33/TA-33	300	300	186~222	317~353	34/29	W40×D40×H157
T-34/TA-34	450	300	186~222	317~353	44/39	W45×D40×H157
T-36/TA-36	600	300	186~222	317~353	58/50	W50×D40×H157
T-37/TA-37	720	360	180~198	310~328	64/—	W50×D40×H187
6T-18/TA-18	一辺180の正六角形		149~181	222~254	37/—	一辺25×対角線49
KT-12/TA-12	270	180	178~208	252~282	38/—	W45×D40×H175
NW-3030	300	300	186~222	317~353	38.1	W31×D31×H163
NW-3045	450	300	186~222	317~353	51.8	W42×D31×H163
NW-3636	360	360	186~222	317~353	47.4	W31×D31×H191
NW-3060	600	300	186~222	317~353	67.2	W54×D31×H163

■天幕をつけた状態での収納寸法(収納袋使用時)

スチール・アルミ複合タイプ **支柱** スチール上部 35<sup>m</sup>/m角 / 下部 28<sup>m</sup>/m角 / 厚み 1.2<sup>m</sup>/m、白粉体塗装 **サイドクロスフレーム** アルミ 6063 26×16<sup>m</sup>/m 八角形 / 厚み 1.8<sup>m</sup>/m、白粉体塗装

総アルミタイプ **支柱** アルミ 6061T-5 上部 35<sup>m</sup>/m角 / 下部 28<sup>m</sup>/m角 / 厚み 1.8<sup>m</sup>/m、アルマイト処理 **サイドクロスフレーム** アルミ 6061T-5 26×16<sup>m</sup>/m 八角形 / 厚み 1.8<sup>m</sup>/m、アルマイト処理

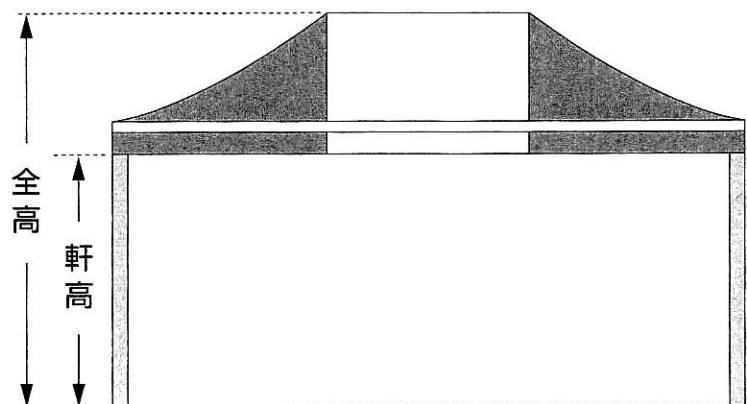
NW シリーズ 総アルミタイプ **支柱** アルミ 6061T-5 上部 38<sup>m</sup>/m角 / 下部 33.5<sup>m</sup>/m角 / 厚み 1.5<sup>m</sup>/m、アルマイト処理 **サイドクロスフレーム** アルミ 6061T-5 側面 30×16<sup>m</sup>/m 八角形 / 厚み 1.5<sup>m</sup>/m リブ 構造内面側 26×16<sup>m</sup>/m 八角形 / 厚み 1.5<sup>m</sup>/m

**接合部** 強化プラスチック(ガラスファイバー+ナイロン 6化合物) **天幕生地** ポリエステル 100% 600D ポリウレタン塗布 耐水圧 790m/m 防水・防炎加工 UVカット加工 紫外線遮蔽率 100%(白は 99%)

### ●カラーバリエーション

1	赤+白	7	赤+青+緑+黄
2	青+白	8	黄
3	緑+白	9	赤
4	白	15	桃
5	青	16	黒
6	緑		

(テントサイズにより異なります。)



●高さ調節範囲：上記表の最低軒高から最高軒高の範囲で高さ調節が可能です。

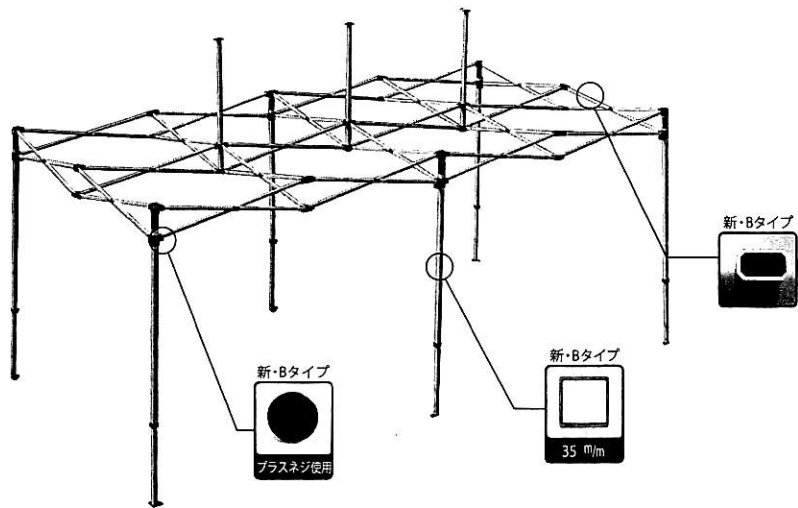
●付属品：杭、ロープ各 4 本 (T-24/36/37 サイズは杭 6 本)、フレーム収納袋、天幕収納袋

●オプション：横幕(一方幕・三方幕)、砂袋 鋳物製重り(約 10kg・20kg)、水袋、テントフレーム用台車、重り用台車  
お買い上げの商品と取扱説明書に記載したイラストは異なる場合がございますのでご了承ください。

5

メンテナンス

● テントの品番および図中の番号をご指定の上、ご注文ください。(数量の併記もお願いします。)



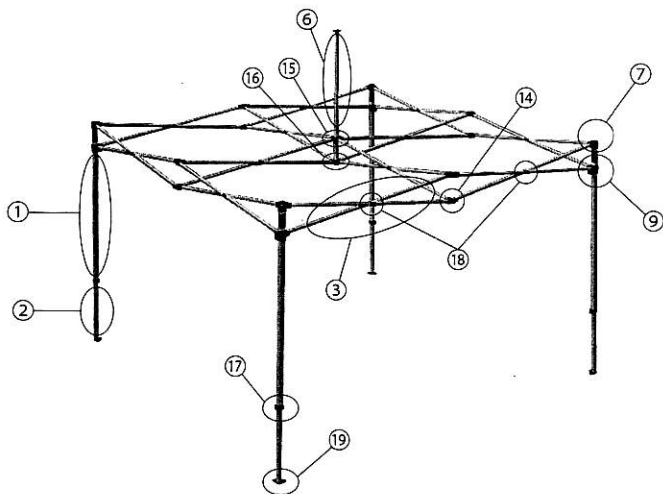
ご用命の際の確認事項です。

- 接続のネジはプラスネジですか？
- フレームの色は白ですか？  
シルバーですか？
- 新・Bタイプですか？

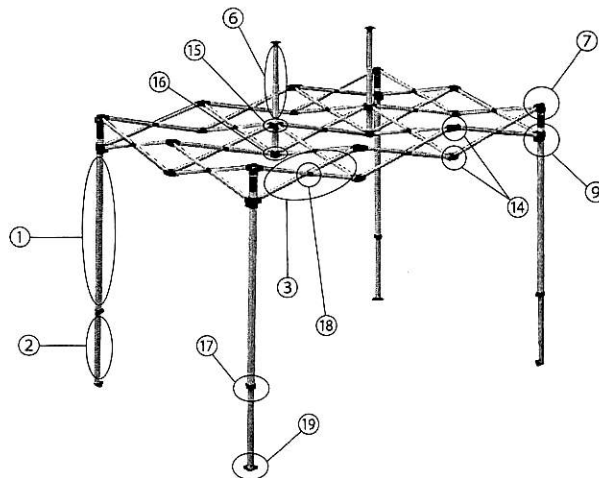
ご確認後、故障箇所の部材部分に○印を付け数量明記の上ご送信をお願いいたします。

T-33 TA-33 (3000×3000)

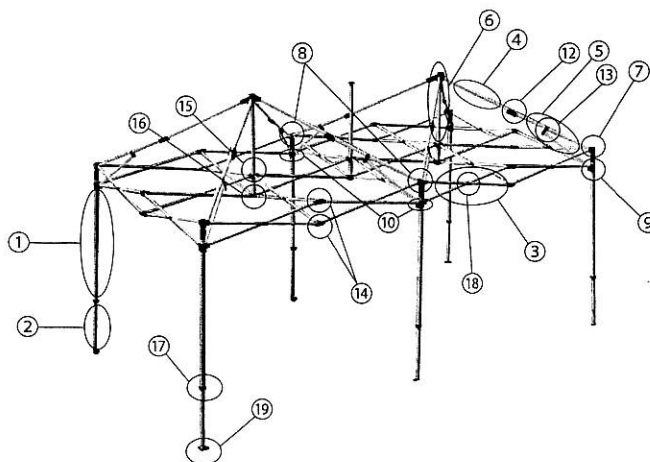
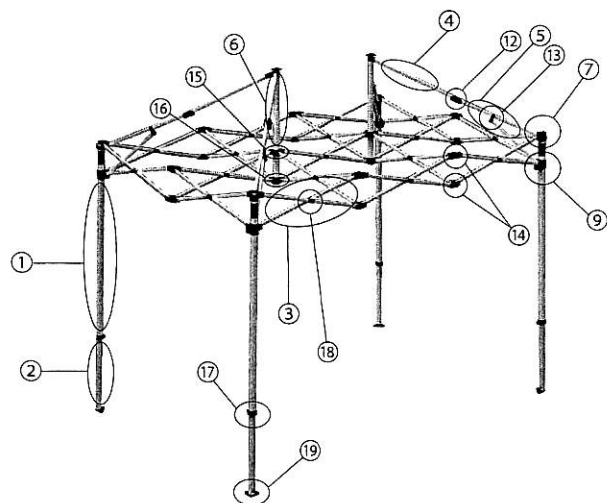
T-12 TA-12 (1800×2700)  
T-23 TA-23 (2400×3600)  
T-34 TA-34 (3000×4500)



NW-3045



NW-3060



①メインフレーム 上部	②メインフレーム 下部	③サイドクロス フレーム	④トッパフレーム	⑤トップ張り フレーム
⑥オートピーク フレーム	⑦メインフレーム ジョイント角部	⑧メインフレーム ジョイント 中央部	⑨スライドジョイント 角部	⑩スライドジョイント 中央部
⑪トッパジョイント	⑫トッパ中 ジョイント	⑬トップ張り ジョイント	⑭サイドフレーム ジョイント	⑮オートピーク ジョイント上部
⑯オートピーク ジョイント下部 (ダイヤル付)	⑰外部付けノブ式 ストッパーピン	⑱サイドクロスネジ (カバー付)	⑲脚台座	⑳T-11・T-22・6T のサイドクロスネジ

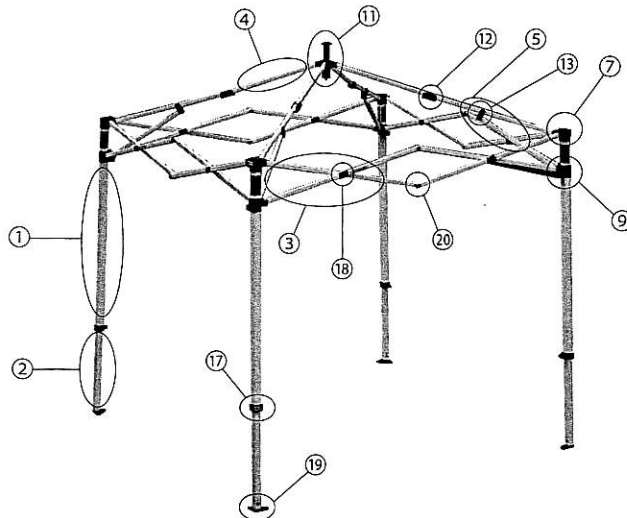
※各部位のネジもご用意いたします。

※WEBからも各メンテナンスパーツの  
画像等の情報を見ることができます。

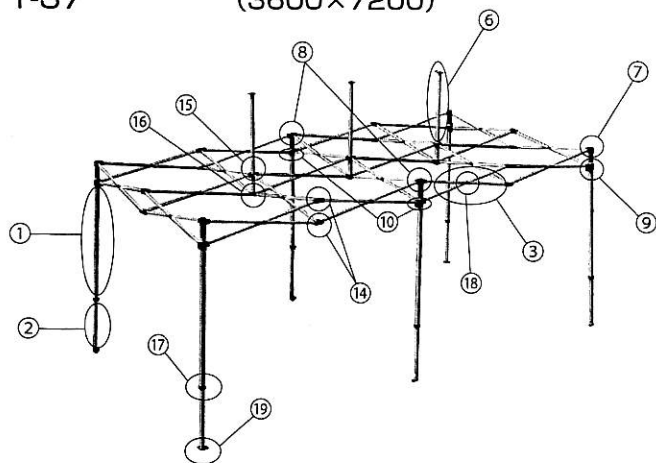
QRコード▶



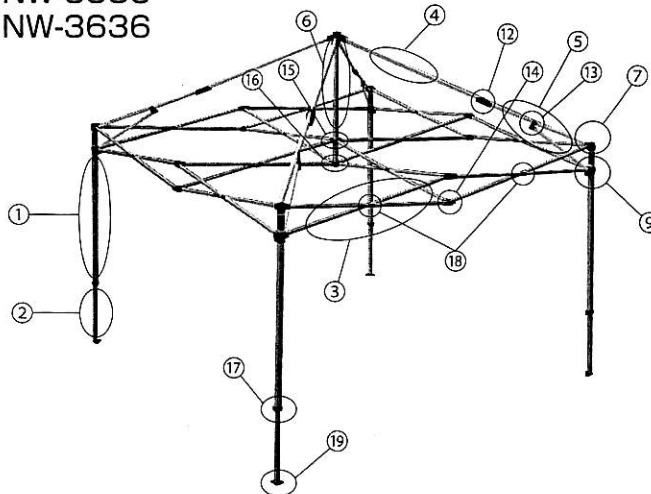
T-11 TA-11 (1800×1800)  
T-22 TA-22 (2400×2400)



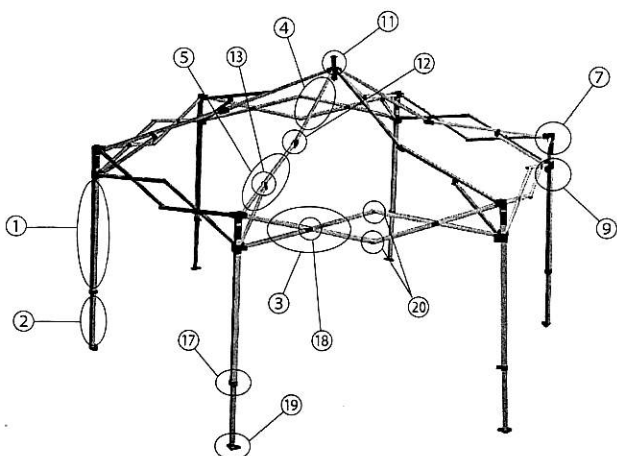
T-24 TA-24 (2400×4800)  
T-36 TA-36 (3000×6000)  
T-37 (3600×7200)



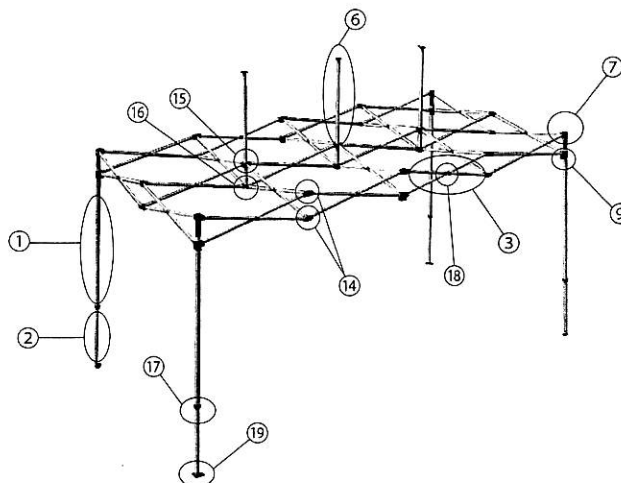
NW-3030  
NW-3636



6T-18 (一辺180×6角形)



T-13 TA-13 (1800×3600)



<http://www.mr-quick-tent.com>

<http://www.tent-kyukyutai.com>

有限会社 埼玉通商

本社

〒339-0067 埼玉県さいたま市岩槻区西町 3丁目 3-29

代表

TEL 048-749-0250 FAX 048-749-0251